

2008

簡単に出来る和綴じアルバム

Easy Japanese Binding for Photo Album

AD15 田中 彩夏

指導教員 井上 謙・菅原 由佳

1. 研究目的

日本固有の文化として今に伝承されている製本技術を使って、写真を飾り収納するオリジナルアルバムを制作することを本研究の目的とした。

2. 調査と分析

(1) 写真の保存方法についての調査

写真の保存方法について調査したところ、「家のプリンターで印刷する人が多くなり、お店で印刷する人は少なくなった」また、「デジタルカメラで撮るとデータなのでパソコンの中にデータが溜まっている」この二つが多かった。

皆たくさんの写真を撮っているのに、家のプリンターがあるためいつでも印刷できるという考えでプリントもせずパソコンの中に写真が溜まる一方となっている。そのような写真を私はアルバムに飾り見てほしいとアルバムキットを制作ことにした。

(2) アンケート

写真を撮るのが好きな人たちに「和綴じのアルバム制作キットについてどう思いますか」ときいたところ、会社員や学生に「時間がないので時間がかかるならいらない」という意見を頂いた。時間的に無理がある、一方専業主婦の方などは「家事の合間にやるには面白そう」、「趣味でやるには良いかも」などコメントを貰った。そこで今回はターゲットを「主婦」中心に考えて制作することにした。

3. コンセプトの立案

「自分で楽しくデザインして作れるアルバム」

日本固有の文化として今に伝承されている製本技術を使う。和綴じは道具もあまり使わず、現在主流の洋綴じよりも簡単なので、自由に自分だけのオリジナルアルバムを制作できるキットを作るには適している。

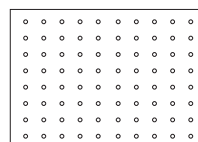
4. デザイン展開

当初アルバムキットのデザインを考えた時は市販のアルバムに近いもので、綴じる側の辺のみに穴があいているものを作った。しかし楽しく自由につくる可能性高めるため紙全面に均一に穴をあけた。このことにより、アルバムの台紙の大きさに規定がなく、好きなサイズの写真を混合してもかざれることができ、縦横と自由に綴じられるので方向にとらわれず、綴じ方も和綴じを取り入れ

ることで難しい製本を簡単にできるようにした。

台紙が紙なので千代紙や色紙などシールも貼れるため、写真と合わせてそのページをデザインする事もできる。この台紙は一枚でも飾れて、穴に画鋲をつけて固定し壁に設置できプレゼントにも使える。

5. 完成図

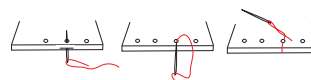


アルバム台紙

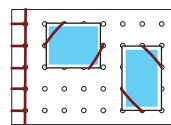


表紙

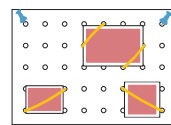
マニュアル本の作り方 中身



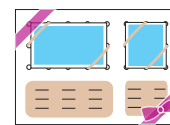
アルバム飾り方



和綴じ



画鋲



プレゼント

6. 結論

アンケートをとるために、アルバムの試作モデルの台紙とマニュアル本を渡して実際にアルバム制作をしてもらったところ、「子供と簡単にできて良かった」、「穴がはじめからあいているので道具要らずで良い」など嬉しい言葉を頂いた。一方これでも「時間がかかってしまう」、「数枚重ねたらちょっとがさばりそう」という意見もあった。

7. 参考文献

「NHK 趣味悠々 お気に入り閉じる
～優しい製本入門～
日本放送出版協会 2008

「思い出コレクション 写真の知識・保存方法編」
<http://www.j-shion.com/hozonhouhou.html>